
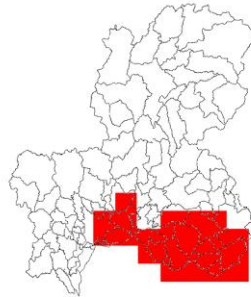


トウカイコモウセンゴケ	<i>Drosera tokaiensis</i> (Komiya et C.Shibata) T.Nakam. et K.Ueda	準絶滅危惧類
		モウセンゴケ科
選定理由	生育する湿地が減少し、個体数も減少している。	写真(高橋弘)
形態の特徴	多年草。根出葉の葉身は広倒卵形、表面に長い消化腺毛があり、基部はくさび形でやや幅広の柄となり、腺毛は柄の基部まで達していない。花期は6-9月、花茎は高さ5-15cm、総状花序は数個から十数個の淡紅色の花を片側に付け、先は渦巻状に巻く。托葉の先はふつう五つに分岐、種子は大きく、長さ500-550μ。	
生態的特徴	明るく開けた湿地に生育する。	
分布状況	本州の東海地方から近畿地方の太平洋側の湿地に分布する。岐阜県では、県南の中部と東部に分布する。	
減少要因	湿地に開発による。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 須賀瑛文